

年 組 名前:



市川 和典  
山本 成美  
(0553)22-0339, 7603  
FAX 23-2158

# 「菜食」対応店 一目で

## 甲州JCが英語ステッカー作製



ベジタリアンに対応したメニューがあることを伝えるステッカーを指さす小鳥居正恵さん（右）  
＝甲州市塩山上於曾

### 店頭掲示、外国客にPR

甲州青年会議所（甲州JC）は東京五輪・パラリンピックを前に、野菜やイモなど植物性食品を中心に食べる「ベジタリアン」と、肉類や乳製品を食べない「ビーガン」の対応メニューがあることを英語で示すステッカーを作った。東京五輪を前に訪日外国人にわかりやすく伝える。対応店を紹介するホームページ（HP）も開設した。

ステッカーとHPは、昨年、居さんは外国人に市内を案内する際、ベジタリアンやビーガンの人が対応店が分からず困っている様子を見聞きして、甲州JCで東京五輪に関係する事業を担当していた小鳥居正恵さん（38）が発案。市国際交流委員として活動する小鳥居さん。すでに対応している店

を紹介するとともに、市内店舗の食の多様性に対する意識を高めようと企画した。新型コロナウイルスで特に打撃を受けている飲食店や宿泊施設、ワイナリー、観光農園を支援しようと実施した。ベジタリアンとビーガンの対応店であることを店の外などに貼るステッカーと、メニューで対応料理を示すステッカーの2種類を作製。店先に貼るステッカーは、緑、黄、赤、青の4色で、ベジタリアンが緑、ビーガンがオレンジ色。対応メニューが何品あるか数字を書き込むことができる。飲食店や旅館など市内の72事業所がステッカーを貼付。新たに対応料理を考案する動きも広がり、同市塩山上於曾の中村屋旅館はベジタリアン向けの朝食を新たに用意した。だしをかつおから昆布やシイタケなどの植物性に変更したほか、タンパク質を肉で

はなく豆腐で補ってもらうなど栄養価を考えながらメニューを工夫している。若おかみの中村えり子さん（36）は「少しでも利用しやすくなるように努力していきたい」と話す。一方、HPでは対応店舗やメニュー、店主のコメントを日本語と英語で掲載している。小鳥居さんは「外国人観光客がストップしている時間を有効に使い、まずは地元の店舗にベジタリアンとビーガンについて理解を深めてもらいたい」と話している。

(2021年1月28日付 山梨日日新聞 18面)

問1 「ベジタリアン」と「ビーガン」は、どんな人たちのことを言うのですか。

ベジタリアン: .....

ビーガン: .....

問2 「ベジタリアンやビーガンへの対応店であることを、訪日外国人に知らせるため

英語の『A』を作ったり『B』を開設しました。A、Bに言葉を入れてください。

A 「 ..... 」 B 「 ..... 」

問3 東京五輪が、今年通常開催されれば多くの外国人が訪れるでしょう。甲州JCの取り組みやおもてなしによって、外国人たちはどう感じるとおもいますか。

.....  
.....